子どもたちの歌に感動

この秋、村の子どもたちは、桐の葉祭に始まり、3校音楽交流会、SBCこども音楽コンクール、村文化祭、栄小音楽会と感動の歌声を披露してくれました。

【3校音楽交流会】

10月11日（金）に栄村文化会館かたくりホールにおいて、村内小中学校合同による音楽交流会が開催されました。これは、普段、接する機会の少ない一流の演奏家による高い技術の演奏を鑑賞し、音楽の豊かさや良さ、美しさを味わい、自らも表現しようとする意欲や態度を高めるとともに、村内全児童生徒が一同に会し、音楽を通じてより交流を深めることを願って開催されました。

当日は、講師に飯山市在住の山崎浩先生、沼田秀美先生をお招きし、両先生の演奏、歌唱による音楽鑑賞、三校それぞれの音楽発表、三校による合同合唱などを行い、各校の発表後は、先生方よりきめ細かく講評していただき、最後は全員に歌唱指導をしていただきました。

村文化祭や栄小学校の音楽会前でもあったことから、子ども達も終始熱心に聞き、歌っていました。

栄中生徒の感想

「特別に来て下さった山崎先生、沼田先生によるミニコンサートが開催されました。歌う時の姿勢や口の開き方など、とても勉強になりました。お二人の一番すごかったのが声量でした。ホール中に響く声で迫力がありました。そして三校で歌い合いました。秋山小・栄小ともに元気いっぱいで感動し、わたしも元気になりました。」

【SBCこども音楽コンクール】

栄中　松澤達弥

10月16日ホクト文化ホールにてSBCこども音楽コンクールに全校合唱で参加し、かんてんパパ賞を受賞しました。今年度の全校合唱は「今までご支援をいただいた方やお家の方、地域の方に対して自分たちから元気を与えていこう」という思いを「地球星歌」の歌詞・楽曲に願いを込めながら練習をしてきました。大ホールで歌う機会を頂き、当日は緊迫した会場の中で一人一人の生徒が聴いて下さる方々に感謝の気持ちを伝えようと精一杯の表現をしてくれました。また、当日は遠方より大勢の方が応援に来て下さりお褒めの言葉を頂きました。生徒たちも励みになったと思います。ご声援ありがとうございました。

公民館報 さかえ
第286号
平成25年11月1日発行

■ 発行
栄村公民館
〒389-2792
長野県下水内郡栄村
■ 電話
0269-87-3111
050-3583-2115(IP)
■ 編集
栄村公民館報編集委員会

冬の準備 怠りなく

忙しい稲刈りの時期も終わり、いよいよ秋も深くなり始めたなぁなどと思いはじめると、もうすぐそこまで来ている厳しい栄村の冬を考えてしまうのは私だけでは無いと思います。

今回は「冬に備えて」と「雪下ろし、雪かたづけに潜む危険」をテーマに書いてみたいと思います。私自身、栄村雪害対策救助員として13年間多くの出来事と先輩方の経験を教えていただきそれを元に皆様に伝えていけたらと思います。

まず冬が来る前に栄村に住んでいる人は必ず雪囲いをすると思います。窓、シャッター、ボイラー回り、そして大切にしている植木など、毎年「去年はどんなふうにやったけ?」などと考えながらしていませんか?毎年同じ木材、金物を使っていては必ず劣化による破損があります。今年は少し「本当に大丈夫か?」と確認してみたらいかがでしょうか?春先の重い雪により破損するのは皆様もご存知だと思います。大切な物を雪から守るといった点では悪い物は直す事は大切な事だと思います。少しでも頭の片隅に置いて見ていただけたらと思います。「冬に備える」事と言えば他にもスノーダンプ、スコップ、スノーロータリーなどの用具の手入れがあります。私自身、何度もスノーダンプに雪が張り付き屋根から落ちそうになったことがあります。スプレーやパラフィンの塗布は欠かせません。作業能率が良くなることで余計な力をつかうことなく疲労による事故も軽減されるはずです。

最後に近年の除雪において欠かせないのがスノーロータリーです。私たち雪害対策救助員にとってもなくてはならない機械です。年間300時間位使うので最も気を使い手入れと作業をしています。スノーロータリーは当然雪のない時期には使わずずっと倉庫の中で邪魔になる時以外動かす事がありません。雪が降り突然使い出すと故障する事が非常に多いです。余裕をもって雪が降る前に整備、点検を行い必要であれば修理をしないと必要な時に動かなくなる事があります。

事前の点検で心に余裕を!

点検は自分でも簡単にする事ができます。例えば走行、作業ベルト、油圧ホースの劣化、実際に動かしての異音ガタつきなどシーズンはじめはもとより、シーズン中にも気を配ると途中で故障して大変な思いをすることも軽減されると思います。作業の合間に点検をして何度も未然に故障する前に修理する事ができました。作業時において気をつけている事は、オーガーピンの緩みを常に確認して作業をしています。それによってピンの穴の拡大を防ぎ、ピンが飛びやすい、緩みやすいのを軽減する事ができます。高価なスノーロータリーを長く快適に使うために是非行ってもらいたいと思います。スノーロータリーは大変便利な機械ですが、大変危険も伴う事はご存知だと思います。作業中はそばには寄らない、周囲の確認を怠らないは最低限行いながら作業して行きたいです。他にも落雪式屋根の下での作業は十分注意していただきたいですしオーガーを回したまま放置などは本当に危険です。

大変な冬を安全に少しでも快適に乗り切るために皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

西部編集委員

焼いも交流会

10月29日、栄中学校で焼き芋交流会が開かれました。畑作りに協力して頂いた保護者、地域の方、そして夏に花壇の草取りをしていただいた森の老人クラブの方々をお招きし、晴天の中、生徒たちの考えたクイズなどを楽しみながら秋の味覚を美味しくいただきました。

村民広場

―栄村男子―

僕は今、下高井農林高校の緑地環境科フラワーデザインコースに所属しています。このコースは週10時間あり、マリーゴールドやサルビアなどの花をポット上げしたり、飯山市のポケットパークや飯山駅で花を植栽して地域の人と交流したりしています。また、3年間でクラス関係なく沢山の友達ができ毎日バカなことをして盛り上がったりしながら楽しい学校生活を送っています。そして9月に就職が決まり、来年の4月から念願だった東京で仕事をすることが決まりました。いつかBIGになって栄村に貢献できるようになりたいです。

箕作　上倉　誠

―栄村女子―

桐の葉祭、SBCこども音楽コンクール、村の文化祭も終わり、そして今月には部活と剣道も引退します。抜け殻状態になりつつありますが、中学3年生、つまり受験生はそんなこと言ってられません。進路実現へ向けて猛勉強！といきたいところですが、まだ進路が決まっていない上、勉強よりも寝る事優先の脳みそなので、そうはいきません。悩むことが多くなってきますが、残り半年を切った学校生活、今のメンバーで過ごす時間だけは、何よりも大切にしたいです。

月岡
南雲まりな

―我が家のペット①―

ちび　取扱説明書

お近づきになる前にこの説明書をお読みになり、内容を十分ご理解頂き、正しくお近づき下さい。

- 12歳の老犬ですが初対面では少し吠えさせていただく場合があります。
- おやつの確認がとれませんと、お手・おかわりなどの芸は一切いたしません。
- 寒さに弱いため冬期間は室内にて警戒をさせて頂きます。
- その日の気分により予告なく警戒を怠ります。

以上正しい取扱よろしくお願い致します。

長瀬　赤津　ちび

―我が家のペット②―

鈴虫を飼って3年になります。ありんこのように小さかった鈴虫が大きくなっていく様やエサの食べ具合を毎日観察したり全身を震わせて鳴く様を見るのは感動的です。まだふ化を成功させたことがなので来年こそ卵がふ化することを願っています。

北野　桑原亜希子

移動図書始まります

公民館図書室では、冬は読書の時間がとれるが、借りに行く手段に困っているという方のために、昨年試に運行しましたが、需要が多かったためこの冬移動図書を開始します。

運べる本に限りがありますが、なるべくご希望の本を選んで運びたいと思いますので、本のジャンル・作家等お気軽に栄村公民館までお知らせください。詳しい運行表は別にお配りしますのでご覧ください。

また、公民館職員が集落を回りますが、時間の許す限り集落の様子や行事のこと等お話をお聞きしたく思いますので、気軽に話しかけてください。

これからの公民館講座　☎050－3583－2115まで

月日	時間	教室名	場所	備考
12月1日	9:00～11:30	しめ縄教室	文化会館　会議研修室	参加料：一人200円
	13:00～16:00	あんぼ教室	文化会館　会議研修室	参加料：一人500円
12月14日	10:00～15:00	こどもまつり	文化会館	
	10:00～12:00	親子であそぼう	文化会館 かたくりホール	こどもまつりと同時開催
12月21日	14:00～17:00	公民館　相いより会	文化会館 かたくりホール	村を語りつくそう
11月21日～12月19日 毎週木曜日 全5回	19:30～20:30	ストレッチ ヨガ教室	高齢者総合福祉センター	参加料：一人1回500円

新着図書紹介

●島はぼくらと(辻村深月)
●土と生きる
　循環農場から(小泉英政)
●植物のあっぱれな生き方(田中修)
その他
雑誌もあります

編集後記

11月は旧暦で「霜月」といいますね。文字通り霜が降りる月という意の「霜降月（しもふりつき）」から「霜月」となったそうです。こうした月の異称は日常でもよく見聞きしますし、二十四節気の立冬もまもなく迎えます。私たちの暮らしの中には季節感ある風情で素敵な呼び名がたくさかあることに改めて気付かされました。

緑